

1. 略歴

- 1997年3月 東京大学文学部思想文化学科宗教学宗教史学専修課程 卒業
- 1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野修士課程 入学
- 1999年3月 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野修士課程 修了
- 1999年4月 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野博士課程 進学
- 2001年4月 日本学術振興会特別研究員 DC2 (東京大学、至2003年3月)
- 2002年3月 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野博士課程
単位取得退学
- 2003年4月 日本学術振興会特別研究員 PD (九州大学、至2004年3月)
- 2004年4月 鹿児島大学法文学部人文学科助教授
- 2007年4月 鹿児島大学法文学部人文学科准教授
- 2012年9月 ハワイ大学マノア校歴史学科客員研究員・米国内務省東西センター太平洋諸島開発プログラム
客員研究員 (フルブライト奨学金研究員プログラム、至2013年2月)
- 2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

宗教史学・宗教学人類学・宗教民俗学・慰霊・死者儀礼の継承、日本と太平洋域の宗教文化

主な研究活動は大きく以下の3つのテーマ群についてである。

(A)戦争や災害による犠牲者に対する態度、(B)現代の地域社会における宗教生活と日常生活の関係性、(C)島嶼と半島におけるダイナミックな人的交流と宗教接触

b 研究課題

具体的な研究課題は以下のとおりである。

(1) 「(A) 戦争や災害による犠牲者に対する態度」に関わる研究

遺骨収集・戦地慰霊において、遺族や戦友といった戦死者を取り巻く直接的関係者ばかりではなく、宗教者・旅行者・行政といった第三者がどのように関与するかをめぐり、次世代へどのように継承されようとしているかをめぐり、調査・考察を行っている。その際、日本人による遺骨収集や戦地慰霊の状況と米豪や太平洋諸島の状況との国際比較、次世代継承に関する宗教体験の伝承や宗教組織の継承などとの比較、戦地慰霊に関する聖地巡礼との比較を行っている。

(2) 「(B) 近現代の地域社会における宗教生活と日常生活の関係性」に関わる研究

九州をおもなフィールドとして、近現代の地域社会のなかで人びとがどのような信仰実践や宗教的行為を行ったかについて、そうした実践を支える日常生活とともに調査・考察している。とりわけ、民俗社会を基盤とした地域が、戦争や公害、自然災害などの歴史的経験からのレジリエンス (回復力) をどのように発揮しているかということについて、博士論文で取り上げた長崎の原爆慰霊を視野に入れながら考察しようとしている。

(3) 「(C) 島嶼と半島におけるダイナミックな人的交流と宗教接触」に関わる研究

奄美群島とミクロネシア地域を主な対象としながら、大航海時代以降のヨーロッパ人のグローバルな移動に端を発する人的な交流の活発化のなかで宗教的接触状況が地域の宗教性のあり方にどのような影響を及ぼしているのかについて比較宗教的な理解を目指している。

c 主要業績

(1) 著書

編著、村上興匡・西村明編著、『慰霊の系譜—死者を記憶する共同体—』、森話社、2013.11

共著、鹿児島大学鹿児島環境学研究会編、『鹿児島環境学特別編—地域を照らす交響学—』、南方新社、2013.12

(2) 論文

Akira Nishimura, "The Engagment of Religious Groups in Postwar Battlefield Pilgrimages," *Bulletin of the Nanzan Institute for Religion and Culture*, No.37, pp.42-51, 2013.7

(3) 学会発表

国内、西村明、「隔たりへの感受性—遺骨収集・戦地慰霊への宗教学的アプローチ—」、第32回文化交流茶話会、東京大学文学部第三会議室、2013.6.6

国内、西村明、「トラウマ、ドキュメント、モニュメント—戦地慰霊に向かう元兵士の事例から—」、京都大学人文科学研究所共同研究班「トラウマ経験と記憶の組織化をめぐる領域横断的研究」、京都大学人文科学研究所、2013.6.17

国内、西村明、「戦地慰霊をめぐる超宗派的動向—『中外日報』の記事を中心に—」、日本宗教学会第72回学術大会、國學院大學、2013.9.8

国内、西村明、「近代宗教制度報告—戦前期日本の場合—」、国立民族学博物館共同研究「宗教人類学の再創造—滲出する宗教性と現代世界」、国立民族学博物館、2014.3.1

(4) マスコミ

「識者評論」、『高知新聞』ほか、共同通信、2013.8.11

「戦地慰霊と「中外日報」— 等閑視されてきた戦後宗教交流史—」、『中外日報』（論・談）、2013.10.22

「東奔西想1」、『デーリー東北』ほか、共同通信、2014.1.24

「東奔西想2」、『山陽新聞』ほか、共同通信、2014.2.24

「東奔西想3」、『信濃毎日』ほか、共同通信、2014.3.25

(5) 受賞

国内、鹿児島環境学研究会、南日本出版文化賞受賞、南日本新聞、2012.6

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本宗教学会、評議員、2013.9～

国内、日本宗教学会『宗教研究』編集委員、2013.9～

国内、「宗教と社会」学会、常任委員、2013.6～2015.6

国内、西日本宗教学会、運営委員、2010.7～

国内、西日本宗教学会『西日本宗教研究誌』編集委員、2010.7～

国内、戦争社会学研究会、運営委員、2013.3～

(2) 行政

福岡市史編集委員会民俗専門部会専門委員、2005.7～

鹿児島県「屋久島CO2フリーの島づくりに関する研究会」委員、2013～

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

一般財団法人メディポリス医療研究財団シーピーシー治験病院、治験審査委員、2008.4～

国立民族学博物館、共同研究員、2013.10～2017.3